

2019 年度事業報告

2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日まで
認定特定非営利活動法人 中部リサイクル運動市民の会

■事業の成果

- ・以下の事業を実施した。

■事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に関する事業

※一人が複数の事業に従事したため、従事者の人数の合計は実際のスタッフ数等より多くなっています。

事業名	具体的な内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数※	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (千円)
1. 地域循環型市民社会システムと場づくりに関する事業	環境配慮型商品の通信販売を行った。	(A) 通年 (B) 当団体事務所 (C) スタッフ 2 人	(D) 環境配慮型商品に関心がある市民 (E) のべ 75 人	1,995
	農山村をフィールドに、生き方、働き方、社会のカタチを考える「豊森なりわい塾」にスタッフを派遣した。	(A) 2019 年 4 月～5 月 (B) 豊田市 (C) スタッフ 2 人	(D) 農山村での暮らしやなりわい作りに関心がある塾生 (E) 27 人	710
	非営利団体の共同オフィスを管理・運営した。	(A) 通年 (B) 当団体事務所 (C) スタッフ 1 人	(D) 特定非営利活動法人エコデザイン市民社会フォーラムほか 3 団体の受益対象者 (E) 不特定多数	1,346
	チャリティーショップ運営団体の委員会に運営委員として参画した。また、チャリティーショップ講演会・設立相談会、全国フォーラムを行った。	(A) 委員会:11/20、3/24 講演: 11/9、12/7 フォーラム: 9/14 (B) 委員会: 東京都港区 聖心女子大学 講演: 静岡県浜松市、高知県高知市 (C) スタッフ 2 人	(D) 国内のチャリティーショップ運営団体 (E) 100 人	21

	非営利団体によるネットワークに参画した。	(A) 通年 (B) 日本国内 (C) スタッフ 2 人	(D) 環境首都創造ネットワーク等の受益対象者 (E) 不特定多数	-
2. ごみ減量に関する事業	まだ使える不用品や資源ごみを市民から集める「リユース&リサイクルステーション」を運営した。	(A) 通年 (B) 名古屋市内のスーパーの駐車場等 37 か所 (C) スタッフ 7 人 ボランティア 47 人	(D) リユースとリサイクルに関心がある市民 (E) 持ち込み者 100,996 人	22,441
	市民から寄付されたリユース品を販売する「Re☆ショップ」と、リユース品の販売とリサイクル資源の常設回収を行う「Re☆創庫」を運営した。	(A) 通年 (B) 名古屋市東区、緑区、熱田区、南区の計 4 か所 (C) スタッフ 8 人 ボランティア 40 人	(D) リユースとリサイクルに関心がある市民 (E) 利用者 45,609 人	27,239
	リターナブルびんの使用を促進するネットワークに参加し、普及啓発を行った。	(A) 通年 (B) 関東、東海など (C) スタッフ 1 人	(D) リユースびんの使用に関心がある業者・市民 (E) 不特定多数	4,734
	リユース品の寄付を常時受け付ける回収ボックス「チャリティBOX」をスーパーに設置し運営した。	(A) 通年 (B) イオンモールナゴヤドーム前 (C) スタッフ 5 人	(D) リユースとリサイクルに関心がある市民 (E) 不特定多数	
	国内でリユースできなかった寄付品を海外でリユースする活動を行った。	(A) 通年 (B) フィリピンなど (C) スタッフ 5 人、Re☆創庫ボランティア 28 人	(D) フィリピンなどのリユースショップ利用者 (E) 不特定多数	
	生活困窮者に食品を届けるフードバンクを支援するため、市民からの食品寄付を集める活動を行った。	(A) 2 月、9 月 (B) Re☆創庫、Re☆ショップ、当団体事務所 (C) スタッフ 3 人	(D) 生活困窮者および生活困窮者の支援に関心がある市民 (E) 不特定多数	
	3. 環境に関する知識の普及および啓発事業	紙のリサイクル講座や紙すき体験などの出前授業を実施した。	(A) 5/27、8/7 (B) 市立桜小学校、熱田神宮緑陰教室 (C) スタッフ 2 人 ボランティア 4 人	(D) 市立桜小学校 3 年生、熱田神宮緑陰教室 5 年生 (E) 145 人
市民が自分で木を植えたり、NPO の植樹活動に寄付できる「植樹券」のプレゼント事業		(A) 通年 (B) 中部電力管内の地域 (C) スタッフ 4 人	(D) 植樹に関心がある中部電力管内の市民 (E) 1000 人	7,052

	を企業と協働で実施した。			
4. 障がい者の就労支援に関する事業	就労体験の場として、リユース&リサイクルステーションや Re☆創庫などで障がい者の受け入れを行った。	(A) 通年 (B) リユース&リサイクルステーション及び Re☆創庫 (C) スタッフ 4 人、ボランティア 38 人(受入れステーション・Re☆創庫)	(D) 就労体験を必要とする障がい者 (E) 約 665 人 (平均 2500 円/回として)	1,662
5. 災害時の物資供給や救援に関する事業	台風 19 号による災害被災者に対する募金活動を行った。	(A) 10 月 (B) Re☆創庫 (C) スタッフ 3 人	(D) 台風 19 号による被災者 (E) 不特定多数	8
6. 開発途上国・地域における環境・社会問題解決に関する活動	開発途上国に向けた廃棄物管理研修を、国際協力機構からの委託で企画運営した。	(A) 1/17～2/20 (B) JICA 中部研修室およびリサイクル関連施設など (C) スタッフ 2 人	(D) アフリカ諸国で廃棄物管理を担当する行政官 (E) 6 人	2,870
	草の根技術協力事業の契約手続きを行った。	(A) 11/24～12/1 (B) カウンターパートの施設、JICA ラオス等 (C) スタッフ 2 人	(D) ビエンチャン都内のパイロット村の村民 (E) 200 人	685
7. 環境問題の解決を目的とする団体の支援活動に関する事業	環境問題の解決を目的とする団体の支援活動	本事業年度は実施しなかった。		-

(2) その他の事業

本事業年度は実施しなかった。

■会議の開催について

●第 20 回通常総会

日時： 2019 年 5 月 29 日 (水) 15 時から 17 時まで

場所： 日本陶磁器センタービル 多目的ホール (愛知県名古屋市中区代官町 39-18)

議題： ■審議事項

第 1 号議案 2018 年度事業報告

第 2 号議案 2018 年度収支決算

- 第 3 号議案 役員の改選
- 第 4 号議案 役員報酬

■報告事項

- 報告事項 1 2019 年度事業計画
- 報告事項 2 2019 年度活動予算
- 報告事項 3 2019 年度組織体制

●理事会

場所： 当法人事務所（日本陶磁器センタービル 5F）

回	開催日	議題
第 1 回	2019 年 5 月 13 日(月)	■ 審議事項 ①2018 年度事業報告 ②2018 年度収支決算 ③役員の改選 ④2019 年度事業計画 ⑤2019 年度活動予算
第 2 回	5 月 29 日(水)	■ 審議事項 ①代表理事・副代表理事の選出について
第 3 回	11 月 18 日(月)	■ 審議事項 ①2019 年度上期収支決算 ②ステーション再編について ③物流センターについて

以上